

公益社団法人

日本造園学会

Japanese Institute of Landscape Architecture



学会員募集中



日本造園学会は 1925 年に創設し、2025 年 4 月に 100 周年を迎えます。

会員の主な特典

- 学会刊行物の配布
「ランドスケープ研究」配布（年 4 回）
「ランドスケープ作品選集」（隔年刊行）、
「ランドスケープ技術報告集」（オンライン・年 3 回）ほか
- 本会が刊行する論文集などへの投稿
- 本会主催の学会大会、講演会などでの発表
- 日本造園学会賞への応募
- 本会のセミナー、刊行物などを会員特別価格で販売
- 造園 CPD（継続教育）の年会費が無料に加え、多くの造園 CPD 認定プログラムを年間を通じて提供
- 産官学民のさまざまな方々との出会いや交流の場が増え、最新の造園技術や社会の動きなどの情報を得ることができます。

概要

公益社団法人・日本造園学会は、造園という伝統的な職能が蓄積してきた技術と文化のうえに、近代的な理論と科学的体系を構築することを目的として、1925年に創設されたわが国最初の造園学に関する学術団体です。2023年現在では約2,200人の会員を擁し、その活動の対象となる領域は、たいへん広範囲なものとなりました。

一方、今日の広域的かつ複雑な環境問題へのとりくみは、従来の学術体系の再編成を前提とし、環境創造をめざす関連諸科学との連携にもとづいた総合的なアプローチを必要としはじめています。

本学会は、大学の研究者から国や地方公共団体の行政担当者、民間のコンサルタントや設計事務所に勤務する実務家、そして造園施工に携わる技術者に至るまで、きわめて幅広く多様な会員によって構成されています。これら会員の活動を通じて、産官学の様々な視点からの問題提起や情報交換、共同研究などの学術交流が可能となり、きたるべきランドスケープ研究の時代をリードすることが期待されています。

<https://www.jila-zouen.org/>

入会手続

入会費 1,000円

入会を希望される方は、会員情報システムの入会申請ページより入会手続を行ってください。

<https://jila.smoosy.atlas.jp/admission/agreement>



こちらからも
入会手続が
可能です。

ただし、購読会員と賛助会員での入会をご希望の方は会員管理システムでの入会申請はできません。
入会申込書にご記入の上、学会事務局までご郵送ください。

会員の種別と資格、年会費

正会員：12,000円（大学院学生は9,000円）
造園学または関連する分野の学識や実務経験のある方

準会員：3,000円
造園学または関連する分野の専門教育を受けている学生（ただし大学院生除く）

購読会員：12,000円（1口以上）
学会誌の購読を目的とされる個人または団体

賛助会員：18,000円（1口以上）
本会の目的と事業にご賛助していただける個人または団体

なお、造園学に関してとくに顕著な功績があり、総会において推薦された方は名誉会員となる

沿革

1925(大正14)年4月14日
社団法人日本造園学会創設

1925(大正14)年11月学
会誌「造園学雑誌」第1巻1
号発刊発行

1934(昭和9)年2月
学会誌を「造園雑誌」と改め
第1巻1号発

1949(昭和24)年9月
学会賞制度発足

1966(昭和41)年11月関
西支部発足

1980(昭和55)年12月校
閲制度発足

1982(昭和57)年5月
上原敬二賞制度発足

1983(昭和58)年11月関
東支部発足

1986(昭和61)年5月
学会賞制度に研究奨励賞
(本間啓賞)を新たに設置

1989(平成元)年7月
学会公報を発刊発行

1991(平成3)年4月
特別賞制度発足

1992(平成4)年3月
「造園作品選集」を増刊号と
して発刊発行(隔年発行)

1993(平成5)年7月
九州支部発足

1994(平成6)年8月
学会誌を「ランドスケープ
研究」と改め、第58巻第1号
発行

1997(平成9)年9月
北海道支部発足

2001(平成13)年3月
「造園技術報告集」を増刊号
として発刊発行(隔年発行)

2002(平成14)年5月
東北支部発足

2003(平成15)年10月
中部支部発足

2005(平成17)年5月
CPD(継続教育)の実施

2012(平成24)年4月1日
公益社団法人に移行

2025(令和7)年4月
学会創立100周年を迎える

主な活動内容一覧

日本造園学会では、造園・緑地学に関する公益社団法人として、学会員による活動のほかに、公園緑地の保全や管理に関する意見書などをまとめたり、2011年に発生した東日本大震災後の国土・地域復興に向けた調査活動やランドスケープ計画に関する提案など、様々な社会貢献活動を行っています。

- ・全国大会、支部大会の開催
毎年春季に全国大会を、秋季に北海道、東北、関東、中部、関西、九州において支部大会等を開催しています。各大会では、総会、シンポジウム、学術研究発表会、見学会、ミニフォーラムなどが行われます。
- ・機関誌および図書等
刊行会誌「ランドスケープ研究」を年4回発行しています。また、全国大会において発表される研究論文を掲載した「研究発表論文集」を毎年発行しています。さらに会員による優れた設計計画作品を掲載した「ランドスケープ作品選集」を隔年で発行しています。また会員による優れた造園技術に関する報告を掲載した「ランドスケープ技術報告集」を年3回、オンラインで発行しています。これらに加えて、造園学にかかわる各種図書を刊行しています。
- ・調査研究
公的機関、民間団体等からの受託研究をはじめ、会員による学術的、実務的調査研究を積極的に推進しています。
- ・学術交流
国内・海外の各種団体との学術交流をすすめています。国際的には、ICLEE、URPR、韓国造園学会、中国風景園林学会との定期交流などが行われています。
- ・包括協定
日本造園建設業協会、都市緑化機構、ランドスケープコンサルタンツ協会(CLA)、全国1級造園施工管理技士の会(一造会)、公園管理運営士会と協定を締結し、包括的な連携のもとに相互交流を進めています。
- ・表彰
会員のすぐれた業績に対して、日本造園学会賞(研究論文、著作、設計作品、技術、事業マネジメント)、上原敬二賞、田村剛賞、奨励賞等を授与し、表彰しています。



上/学会誌「ランドスケープ研究」

2024年以降の主なイベントスケジュール

- 6月14日～16日 日本造園学会全国大会
(愛知県名古屋市他)
- 9月7日～8日 東北支部 (岩手県一関市)
- 10月5日 北海道支部 (北海道札幌市)
- 10月19日～20日 関西支部 (香川県高松市)
- 11月9日～10日 関東支部 (神奈川県川崎市)
- 11月30日～12月1日 九州支部 (福岡県福岡市)
- 12月14日～15日 中部支部 (三重県桑名市)

100周年記念全国大会：東京大学本郷キャンパス
2025年5月16日(金)～18日(日)開催!

その他、本部および各支部にてワークショップ、見学会、シンポジウム等多数開催しています。

連絡先

公益社団法人 日本造園学会事務局
〒150-0041
東京都渋谷区神南1-20-11 造園会館6階
電話：03-5459-0515
FAX：03-5459-0516
E-mail：office@jila-zouen.org

Webサイトはこちらから
<https://www.jila-zouen.org/>

